

Monthly Confidential Report

(毎月1回20日発刊)

サマリー

月刊

電子写真総合情報

—MFP、光プリンター、レーザー/LED FAX、トナー、レジン、感光体、エンジン等を多角的に調査・分析するマーケティングレポート—

2024. 6



中国・ブラザー工業 (A4/モノクロ) DCP-L1848W



コニカミノルタ (A3+/カラー) bizhub C751i Premium



drupa 2024



日・中・米・欧の市場調査

株式会社 データ・サプライ

「実販情報」より抜粋

■ 実販情報 ■ F-モノクロプリンタ/MFP (A4) - キヤノン - 5

キヤノンの A4 モノクロプリンタ/MFP(31~40ppm)は、2023 年の販売台数が前年度の年比で大幅に減少している。自社ブランドも OEM も同様の傾向である。

主な機種名	スピード (ppm)	販売エリア	出荷台数 (台)		
			21	22	23
MFP/imageCLASS MF451.452	35ppm	海外			
MFP/imageCLASS D1820D1530/imageCLASS MF441.442 Printer/LBP21600i9ENSYS LBP215.338/imageCLASS LBP222.225	35ppm	日本			
MFP/imageCLASS MF492	35ppm	海外			

MFP/imageCLASS MF461.462 Printer/LBP241
MFP/MF470w/4570w/8ENSYS imageCLASS MF 424.426.443.4 Printer/LBP254i/8ENSYS LB imageCLASS LBP215.218.228.2
MFP/MF4670w/8ENSYS MF Printer/LBP244i/8ENSYS LB
MFP/LaserJet Enterprise MFP Printer/LaserJet Pro 3001.300 MFP/LaserJet Pro MFP M329 Printer/LaserJet Pro M304.302
MFP/LaserJet Pro MFP 301.31 Printer/LaserJet Pro 3001.300
MFP/LaserJet Pro MFP4101.4 Printer/LBP244.LaserJet Pro

<機種概要>
キヤノンの本セグシリーズ、Printer エンジンとプリントエンジンを備えたプリンタエンジンは紙容量増加および値上げの改善を加えて紙容量が 350 枚、減っている。機能も UI 両面印刷標準、ADF、クラウドサービス、FAX の 4in1 機として

<販売台数>
販売量は、2022 年よりも減少していたが、逆に 2023 年は対前年約 3 割減少となった。

「新製品及び消耗品情報」 【国内】<オフィス向け>より抜粋

■ 新製品及び消耗品情報 ■ 【国内】 <オフィス向け> N-カラー MFP (A3+) - コニカミノルタ - 4

商品名	bizhub C75li Premium	
標準価格	5,417,000 円	
発売年月	2024 年 6 月 7 日	
出力サイズ	A3+	
スピード	カラー70・モノクロ 75 枚/分(A4)	
複合状況	コピー	プリンタ
(※はオプション)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
目標販売台数 (日本市場)	(例)	

【位置付け】	
新規	「bizhub C75li Premium」(541.7) は既に 5
○ 後継	C75li は既に 5
その他	刷・デザイン業界を標準搭載し、様
OEM 受	C75li を踏襲)

【販売ターゲット】	
ターゲット	オフィス及び企業

【製品ラインアップと競合機】

機種名	
bizhub C75li Premium	
競合機	キヤノン 「imagePRESS C270」
	リコー 「RICOH Pro C5300S」
	富士フイルム BI 「ApeosPro C650」

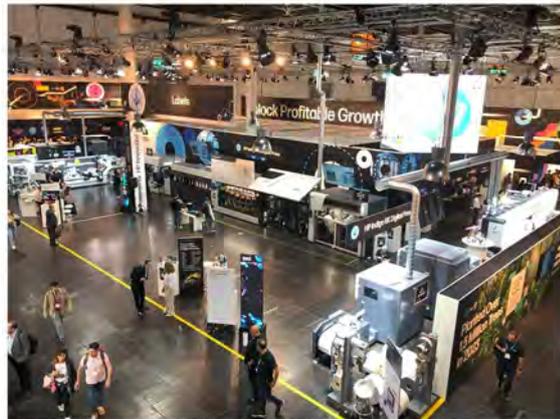


【特集】「drupa 2024」より抜粋

4. 各社の出展状況

【1】HP

HP は前回同様 Hall 17 の全てを占有して、同社の産業用印刷機器及び関連ソリューションを余すところなく展示。特に同社の産業用印刷ポートフォリオのなかで最大の売上規模を占めると推定される液体トナー方式の Indigo シリーズが未だに同社最大の目玉商品であり、広大な Hall の約半分を Indigo シリーズの展示となった。



<HP は Hall 17 の全てを占有して、製品・ソリューションを展示>

商業印刷向けの B2 枚葉機「HP Indigo 120K Digital Press」は第 5 世代プラットフォームを採用。開発に 3 年を要したフラッグシップモデルで、4 色モードで毎時 4,500 枚 (3 色モードで同 6,000 枚) の生産性を実現している。また、新機能の ECO 印刷モードではクリックチャージ料金を 15~20%削減できるほか、AI ベースの自動化ソリューションにより近年の人手不足にも対応させたとしている。B2 枚葉機では第 4 世代プラットフォーム採用の「HP Indigo 18K Digital Press」も展示。厚紙印刷などで優れたメディア汎用性をアピールした。

ラベル市場向けの「HP Indigo V12 Digital Press」は今回の drupa より一般販売をスタートさせた。第 6 世代プラットフォームを採用した同機種では、これまでのシングルエンジンに代わり、6 つのイメージングエンジンを同時にインラインで動作する「LEPX アーキテクチャー」を新採用。書き込みはレーザー方式から LED 方式へと変更され、感光体はこれまでのプレートタイプ (フォトイメージングプレート) に代わりドラムタイプ (フォトイメージングドラム) が採用された。今後はラベル市場向け以外の機種にもこの第 6 世代プラットフォームが採用されていく可能性が高い。

「その他情報」より抜粋

○ー決算－HP－2

HP (HP Inc.) は、2024 年度の第 2 四半期決算 (2024 年 2 月～4 月) を発表した。

① 全体 (第 2 四半期決算)

単位:百万ドル						
	売上高	成長率	営業利益	利益率	純利益	利益率
Printing	\$4,368	-7.8%	\$829	19.0%	-	-
Personal Systems						
Corp Investments / Other						
Total HP						

「生産情報」より抜粋

■生産情報■

P-トナー用パウダーテック-1

本年 6 月に刊行予定の「2024 年版トナーマーケット総覧」よりパウダーテックのトナービジネスについて報告する。

パウダーテックはトナー用キャリアのトップメーカー。コア材及びコーティング品のいずれも製品化しており、国内主要トナーメーカーの多くが同社製品を採用している。

同社の 2023 年におけるキャリア生産量は対前年比 80.1% の 5,000 トン (フェ

ライトが大半で、鉄粉

調整の影響を受け前年

動増を見込んでいるが

に留まる見込み。2025

成分トナー市場全体が

ていることに加え、現

る動きが各顧客で顕著

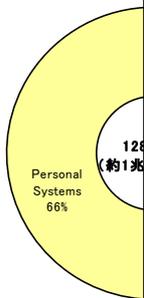
なお、同社は 5G や E

粉の生産・供給をスタ

年度売上高は全社売上

(約 3.3 億円)が見込

売上高のセ



全社売上高は前年同

算、営業利益は 11 億

万ドル (約 1,242 億

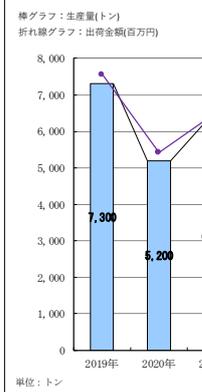
円)

プリンタ事業 (Pri

nting) (約 6,683 億

円)、

※上記金額はいずれ



※弊社「2024 年版トナ
上レポートでは国
の生産動向を詳細にま

「環境情報」より抜粋

■環境情報■

E-シリカ規制-欧州化学物質庁 (ECHA) - 1

オランダの国立公衆衛生・環境研究所 (RIVM) は 5 月 6 日、欧州化学物質庁 (ECHA) に対して、二酸化ケイ素 (非晶質シリカ) を「STOT RE 1 (特定の臓器毒性)」に分類すべきとする提案書を提出した。

上記提案書に対しては、6 月 10 日～8 月 9 日までの期間、幅広い団体からのパブリックコメントが集められる見通し。日本国内では、日本無機薬品協会 (JICIA: Japan Inorganic Chemical Industry Association) などがパブリックコメントを出すために準備を進めているとされている。尚、意見採択の法的期限は 2025 年 11 月 5 日と定められている。

トナー業界においては、小粒径のフェームドシリカがトナーの流動性を改善させる材料 (外添剤) として使用されているほか、近年はポリエステル系トナーの増加に伴う樹脂の低粘度化に対して、小粒径シリカのトナーへの埋没防止やトナー同士の凝集/融着を防止するため大粒径のコロイダルシリカを使用するケースも増えている。外添剤への規制という点では、酸化チタンが CLP 規則の発がん性物質「区分 2」(ヒトへの発がん性が疑われる) に分類されたほか、トリメチルシリル化 (HMDS) 処理のシリカに対する規制 (10% 添加する物質にラベル義務) などもあり、トナー開発に大きな影響を与える状況が続いている。

<規制対象の化学物質>

Silicon Dioxide (Synthetic Amorphous Silica SAS)	
EC / List 番号 (EU 委員会が定めた化学物質番号)	231-545-4
CAS No (登録番号)	7631-86-9



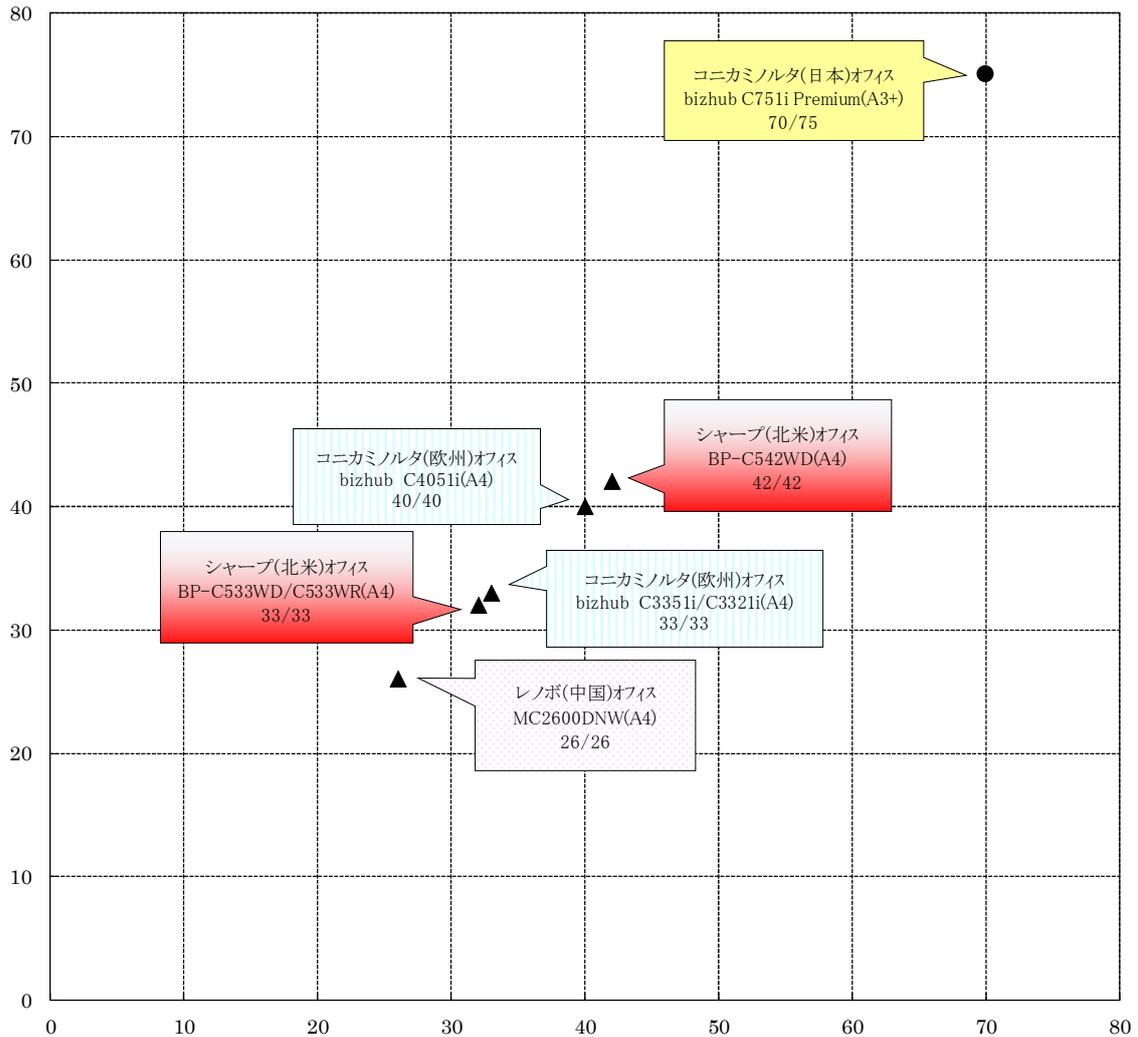
2024. 6 Executive Summary

[今月の新製品]

1. カラーMFP (A3・・・●、A4・・・▲)



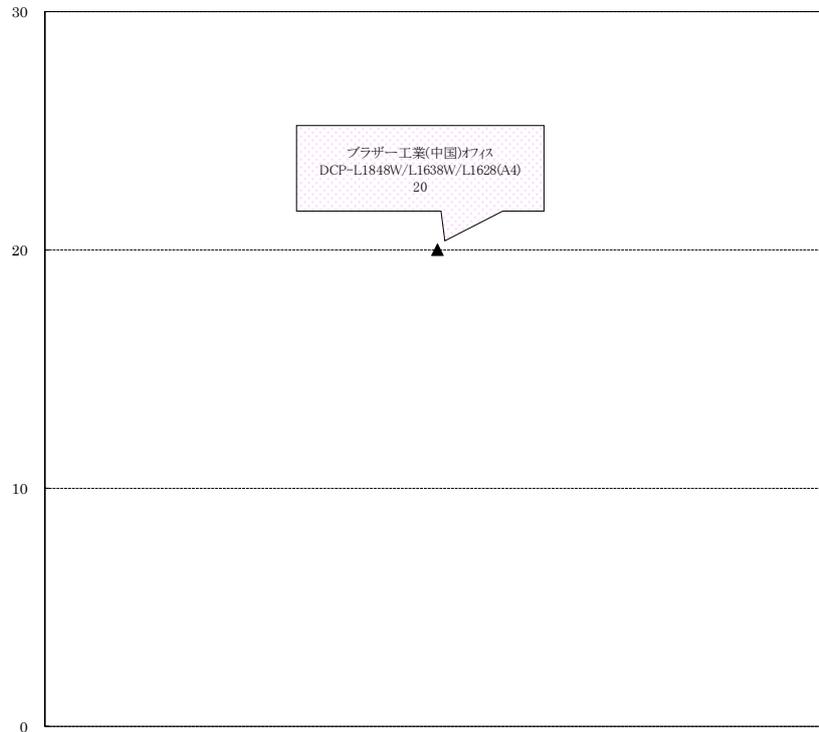
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

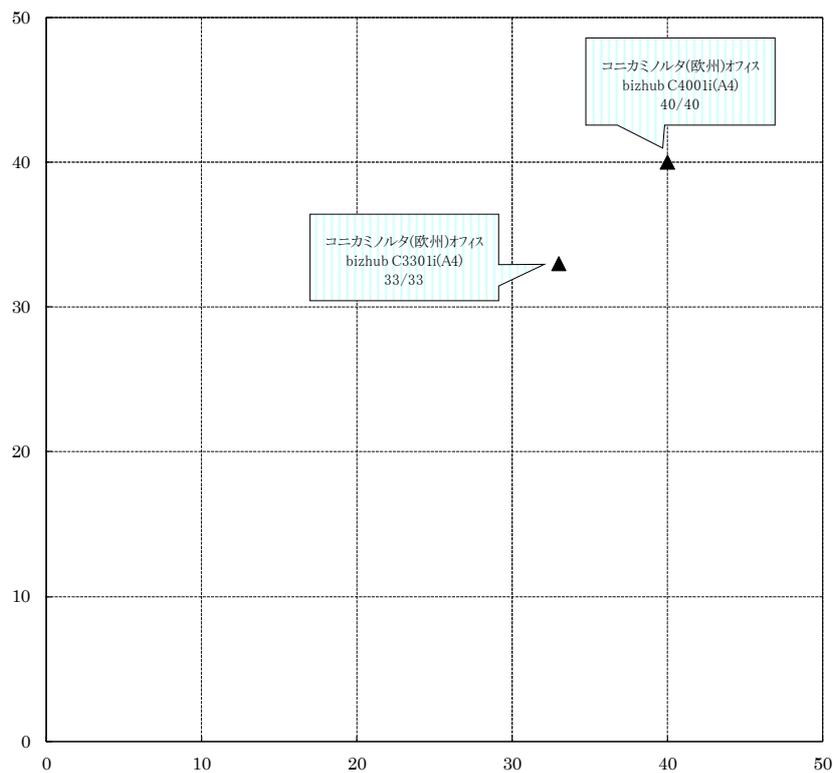
2. モノクロ MFP (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



3. カラープリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

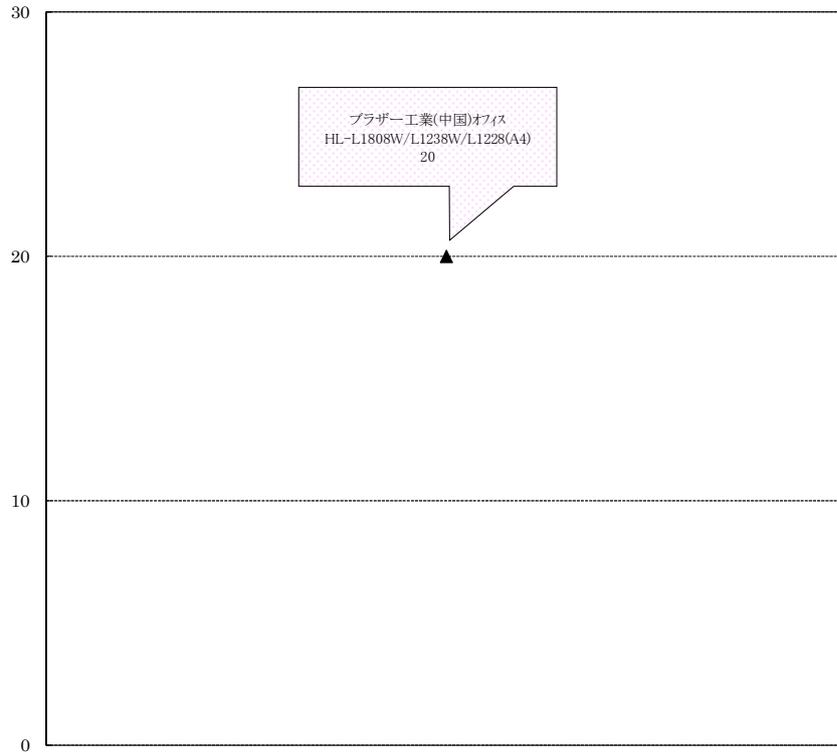
モノクロ (PPM)



カラー (PPM)

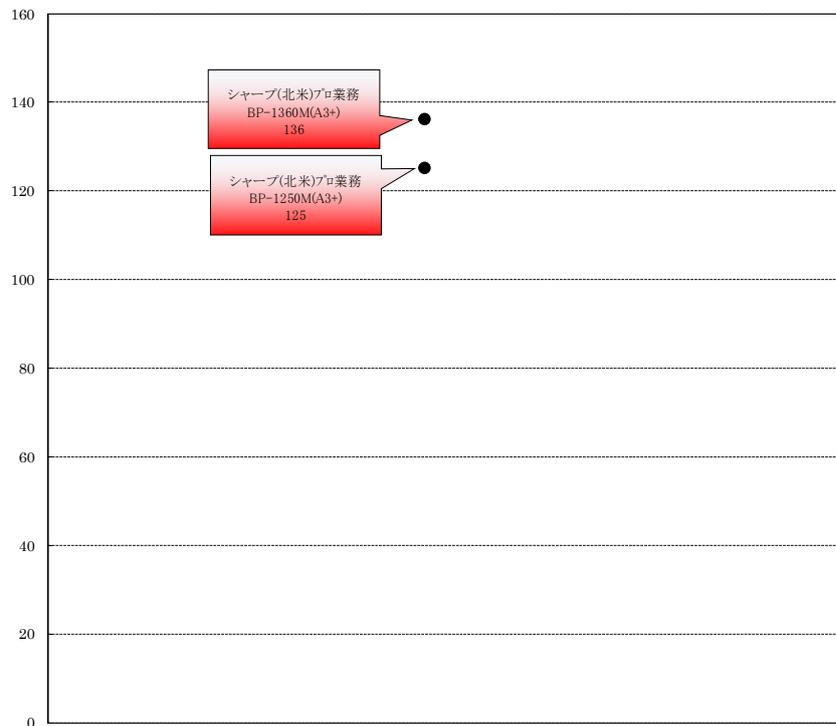
4. モノクロプリンタ (A3・・・●、A4・・・▲)

モノクロ (PPM)



5. モノクロプロダクションプリンタ (A3・A3+・・・●)

モノクロ (PPM)



2024年6月号目次

■ 特集 ■

特集— d r u p a 2024	1
1. 全体概要	2
2. デジタル印刷関連の主なトピック	3
3. サイズ別にみた主なデジタル印刷機器の出展状況（2016年との比較）	4
4. 各社の出展状況	8
[1] HP [2] キヤノン [3] 富士フイルム [4] コニカミノルタ	
[5] リコー [6] 京セラドキュメントソリューションズ	
[7] スクリーン [8] 小森コーポレーション	
[9] ランダ・コーポレーション [10] ザイコン	
[11] KOENIG & BAUER/ダースト [12] その他	
5. 総括	30

■ 実販情報 ■

F—モノクロプリンタ/MFP（A4）—キヤノン—5	31
(imageCLASS MF451 他)	
F—モノクロプリンタ/MFP（A4）—HP—3	32
(SL-M3370 他)	
F—モノクロプリンタ/MFP（A4）—ブラザー工業—2	33
(DCP-L2620 他)	
F—モノクロプリンタ/MFP（A4）—京セラドキュメントソリューションズ—4	34
(ECOSYS M2135 他)	

■ 新製品及び消耗品情報 ■

〔国内〕

<オフィス向け>

N—カラーMFP（A3+）—コニカミノルタ—4	35
(bizhub C751i Premium)	

〔北米〕

<オフィス向け>

N—カラーMFP（A4）—米・シャープ—2	43
(BP-C542WD/C533WD/C533WR)	

<プロ/業務向け>

N—モノクロプロダクシヨンプリンタ（A3+）—米・シャープ—3	49
(BP-1360M/1250M)	

〔欧州〕

＜オフィス向け＞

N-カラーMFP／プリンタ（A4）-欧・コニカミノルタ-1 54
 （bizhub C4051i/C4001i/C3351i/C3321i/C3301i）

〔中国〕

＜オフィス向け＞

N-カラーMFP（A4）-中国・レノボ-2 56
 （MC2600DNW）

N-モノクロプリンタ／MFP（A4）-中国・ブラザー工業-2 61
 （HL-L1808W/L1238W/L1228/DCP-L1848W/L1638W/L1628）

■ 環境情報 ■

E-シリカ規制-欧州化学物質庁（ECHA）-1 63
 （オランダの国立研究所が欧州化学機関のECHAに対して提案書を提出）

E-再生トナーカートリッジ-富士フイルムビジネスイノベーション-1 64
 （欧州地域での資源循環を促進する生産拠点をオランダに開設）

E-リサイクル装置-キヤノン-1 65
 （キヤノンがプラスチック選別装置の受注を開始）

■ 生産情報 ■

P-トナー-パウダーテック-1 66
 （キャリアの生産量・金額推移/「2024年版トナーマーケット総覧」より）

P-感光体-シャープ-1 67
 （感光体の生産本数推移/「2024年版感光体マーケット総覧」より）

P-ローラー-信越ポリマー-1 68
 （ローラー系部品の出荷本数・金額推移/「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」より）

P-ローラー-グンゼ-1 69
 （中間転写ベルトの出荷本数・金額推移/「2024年版ローラー系部品マーケット総覧」より）

■ その他情報 ■

O-生産拠点再編-ゼロックス-1 70
 （ゼロックスが欧州生産拠点2カ所を再編）

O-再生カートリッジ-HP-1 71
 （HPが再生カートリッジの新サービス SecuReuse を発表）

O-業務提携-キヤノン/ハイデルベルグ-1 72
 （商業印刷分野における枚葉インクジェット印刷機の販売で業務提携）

O-商業印刷機-富士フイルムビジネスイノベーション-1 73
 （商業印刷市場向けの「Jet Press 1160CFG」を国内で発売開始）

○ー資本提携ーリコージャパン／デジタルデータソリューションー1	74
(リコージャパンとデジタルデータソリューションが資本業務提携契約を締結)	
○ー複写機遺産認定ー日本画像学会ー1	75
(日本画像学会が4件の資料を複写機遺産として認定)	
○ー決算ーゼロックスー2	78
(ゼロックスが2024年度の第1四半期決算を発表)	
○ー決算ーHPー2	80
(HPが2024年度の第2四半期決算を発表)	
○ー業界関連情報ー各社ー6	82
富士フイルムが「FUJIFILM Dimatix SKYFIRE SF600」を発表／シーメンスのプラットフォームが京セラ DS の複合機向け SoC 開発に採用／Landa と Gelato が提携／ETIRA が違法カートリッジに警鐘／東北エプソンがインクジェットプリンタ用ヘッドの生産工場を建設開始	

統計速報

統計全体のあらし	89
複写機統計 (生産／受入の内訳／販売／月末在庫)	90
プリンタ統計 (生産)	94
事務用機器輸出統計	95
(ネットワーク対応 MFP／単機能機)	
事務用機器輸入統計	98
(ネットワーク対応 MFP／単機能機)	

月刊『電子写真総合情報』

「月刊電子写真総合情報」は、株式会社データ・サプライが1986年9月から刊行。電子写真製品に関する総合的なレポートです。複写機(MFP)、光プリンタ、プロダクションプリンタ等に関する機種別の実販情報、新製品情報(写真掲載)、トナー、レジン、感光体、エンジン部品等の消耗品情報、生産情報、流通情報、ビジネスショー情報、複写機、プリンタ、ファクシミリ、部品の輸出統計速報(財務省)、及び生産統計速報(経済産業省)等を毎月1回レポート。その他、特集記事として、ハードウェア及び消耗品、部品の国内外市場動向、海外への進出情報、国内外展示会情報、OEM情報等のテーマをその都度取り上げ、レポート。

※年会員様は調査テーマを希望できます。(但し、事前相談が必要)

◇毎月20日刊行 年間1,200~1,300頁

◇年会費 ¥700,000(消費税別) 月会費 ¥60,000(消費税別)

英文版 \$7,000(消費税別)
2014年11月号からスタート

特集一覧(毎月のホットな話題を10~15ページ程度にまとめてお届けします)	
2024.5	<ul style="list-style-type: none"> ・定着器用部材(ローラー・ベルト)の最新市場動向:定着器用部材の最新市場動向と最新トレンドを概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2024年度3月期(キヤノン:2023年12月期)の決算と2024年度見通し・予想を概括。
2024.4	<ul style="list-style-type: none"> ・感光体市場:全世界の感光体市場を概説。 ・APPPEXPO 2024:第31回上海国際広告技術設備展覧会での、サイン印刷市場の概要と同展示会に出展された大判インクジェットプリンタメーカーの展示を中心にレポート。
2024.3	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2023年実績)を報告。
2024.2	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界のMFP(複写機・複合機)出荷動向:複写機・複合機(MFP)の最新出荷動向を取り上げた。全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・全世界のホーム&オフィス向けインクジェットプリンタ出荷動向:ホーム&オフィス向けインクジェットプリンタの最新出荷動向を取り上げた。
2024.1	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向を概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェット技術の最重要パーツであるインクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.12	<ul style="list-style-type: none"> ・Formnext 2023:ドイツのフランクフルトで開催された展示会について、特にバインダー・ジェットングなどのインクジェット技術に注目し、同技術を採用する主要3Dプリンタメーカーを中心に取材を実施。 ・複合機・プリンタ業界における2023年の振り返りと2024年の展望:本誌で取り上げた2023年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2024年の業界を展望。
2023.11	<ul style="list-style-type: none"> ・RemaxWorld Expo 2023:同展示会に出展したアフターメーカーを直接取材し、主要消耗品メーカーなどの最新情報をレポート。 ・Formnext 2023(写真速報):中ドイツのフランクフルトで開催された同展示会の様子を写真速報版として掲載。 ・決算:複合機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4~9月期(中間期)の決算(キヤノンのみ1~9月期)を概観。
2023.10	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。 ・中国3Dプリンタ市場:中国における3Dプリンティング技術発展の歴史を概観し、同市場を牽引する主力メーカーの動向及び中国3Dプリンタ市場全体を考察。
2023.9	<ul style="list-style-type: none"> ・プロダクションプリント(PP本体・PP向けトナー)の最新市場動向:主要メーカーの2022年最新出荷台数実績と製品レンジ別の市場動向、PP向けトナーの生産量動向を概説。
2023.8	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー用レジンの最新市場動向:トナー用レジンの世界市場と日本メーカーの最新動向を概観。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2023年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2023.7	<ul style="list-style-type: none"> ・ITMA 2023:同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。 ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。
2023.6	<ul style="list-style-type: none"> ・中国Ninestarの企業分析:Ninestarの徹底分析を実施。レーザープリンタや互換消耗品の売上高や出荷数量推移をまとめたほか、部材の主要調達関係も整理している。 ・ITMA 2023(速報版):展示会の主要6社の出展状況を写真速報版で掲載。
2023.5	<ul style="list-style-type: none"> ・Interpack 2023:ドイツでの同展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポートする。現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年度(キヤノンは2022年12月期)の決算と2023年度見通しを概括。
2023.4	<ul style="list-style-type: none"> ・感光体市場:全世界の感光体市場を概観。感光体需要の頭打ちに加え、原材料価格やエネルギーコストも高止まりしており、今後は技術力だけではなくコストも含めた感光体メーカーとしての総合力がより重要となると考察。
2023.3	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの国内出荷動向と売れ筋機種ランキング:レーザー/LEDプリンタの国内市場の概要と、売れ筋機種の販売台数(2022年実績)を報告。
2023.2	<ul style="list-style-type: none"> ・全世界の複写機・複合機(MFP)出荷動向:全世界及び地域別の出荷動向、カラー化の進展状況、サイズ別の出荷状況、主要メーカーの最新動向などを概説。 ・インクジェットヘッドの外販市場:インクジェットプリントヘッドの外販市場の最新動向を取り上げた。
2023.1	<ul style="list-style-type: none"> ・レーザー/LEDプリンタの全世界出荷動向:同業界の状況をレポート。 ・プリンテッドエレクトロニクス・コンファレンス:プリンテッドエレクトロニクス市場の印刷方式を概観しながら、韓国、オランダ、フィンランドで開催された展示会を写真速報で紹介。
2022.12	<ul style="list-style-type: none"> ・IGAS 2022:主要出展企業と出展状況等をレポート。 ・複合機・プリンタ業界における2022年の振り返りと2023年の展望:本誌で取り上げた2022年の重要ニュースについて、最新情報を追記していく形で振り返りつつ、2023年の業界を展望する。
2022.11	<ul style="list-style-type: none"> ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~9月期(中間期※キヤノンは1~9月期)の決算を概括。 ・JIMTOF 2022:AM(Additive Manufacturing)エリアに出展した3Dプリンタ関連メーカーを中心にレポート。
2022.10	<ul style="list-style-type: none"> ・Labelexpo Americas 2022:展示会に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。(現地取材は、弊社と提携関係にあるi4 inkjet Ltd社(本社:アイルランド)が実施)
2022.9	<ul style="list-style-type: none"> ・トナー市場:複写機・レーザープリンタのトナーの最新市場動向を取り上げた。近年、市場全体が縮小に向かう中、事業売却・アウトソーシング等様々なトナーの今後の可能性をレポート。 ・サイン&ディスプレイショー 2022:9月1~3日に東京ビッグサイトで開催された展示会の出展状況をレポート。
2022.8	<ul style="list-style-type: none"> ・産業用・商業用インクジェット市場:事務機メーカーのインクジェット技術による市場開拓の状況を取り上げた。 ・決算:複写機・プリンタメーカー各社が発表した2022年4月~6月期(第1四半期※キヤノンは第2四半期)の決算を概括。
2022.7	<ul style="list-style-type: none"> ・中間転写ベルトの最新市場動向:複写機・レーザープリンタの基幹部品である中間転写ベルトの市場動向を取り上げた。 ・FESPA Global Print Expo 2022:インクジェット技術に焦点を当てた同展示会(ドイツ:ベルリンで開催)に出展した主要メーカーの展示動向などをレポート。
2022.6	<ul style="list-style-type: none"> ・複写機/プリンタ用部品(ローラー/ベルト/ブレード)の最新市場動向:ローラー/ベルト/ブレード系の機能部品市場を概観。

株式会社データ・サプライ刊行物案内／申込書

住所：〒110-0005 東京都台東区上野6-6-1 舶来堂ビル5F
 TEL：03(3831)9201、FAX：03(3831)9204
 E-mail：yamamoto@datasupply.jp、yoshida@datasupply.jp、hariu@datasupply.jp
 ホームページ：http://www.datasupply.jp/

- 以下の枠内にご記入いただき、下表のご希望の調査資料に希望部数、金額をご記入ください。最短で翌日（部数、地域による）に到着するように発送いたします。
- 申込はメール、FAX、郵送のいずれでも可能です。申込と同時に現物と請求書を発送させていただきます。尚、発刊日前の申込につきましては、申込時に半金の請求をし、発刊日に残金（現物とも）の請求をさせていただきます。

申し込み日 2024年 月 日

御社名

御住所 〒

御電話番号

御担当部署

御担当者

※セット価格は日本語版+英語版

	①日本語版		②英語版		セット ①+②	部数	金額
	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)	刊行日	価格 (税別)		
《 定期刊行物 》							
* 「月刊電子写真総合情報」 一電子写真に関する総合的なレポート (1986年～) 年間1,200～1,300頁	年会費：¥700,000 (PDF版) 月会費：¥60,000 (PDF版)	毎月 20日	\$7,000 (PDF版) \$600 (PDF版)	毎月末	¥800,000		
i4inkjet [Directions] (年6回発行、年300頁～) ※インクジェット関連の特許技術レポート	—	—	¥550,000 ～ (PDF版)	2021年 7/27～			
《 2024年刊行予定物 》							
* 2024年版[感光体マーケット総覧] (263頁) 『業界変革・再編時代における感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/26	\$5,200 (PDF版)	4/15	¥700,000	日 英	
* 2024年版[ローラー系部品マーケット総覧] (372頁) 『市場成熟に向き合う部品業界の最新動向』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	6/7	¥700,000	日 英	
* 2024年版[トナーマーケット総覧] 『業界再編に向けて動き出すトナー業界の総合分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27 予定	\$6,000 (PDF版)	8/16 予定	¥700,000	日 英	
《 2023年刊行物 》							
* 2023年版[感光体マーケット総覧] (272頁) 『変化の時代に真価が問われる感光体市場の総合分析』	¥500,000 (PDF版)	2/22	\$5,200 (PDF版)	4/21	¥700,000	日 英	
* 2023年版[ローラー系部品マーケット総覧] (385頁) 『価格上昇時代に突入した部品業界の総合分析』	¥400,000 (PDF版)	4/25	\$5,000 (PDF版)	注文 対応		日 英	
* 2023年版[トナーマーケット総覧] (587頁) 『環境配慮技術で生き残るトナー業界の将来性分析』	¥600,000 (PDF版)	6/27	\$6,000 (PDF版)	7/28	¥700,000	日 英	
* 2023年版[中国市場(ハードウェア・消耗品)] (222頁) 『中国企業の台頭により競争が激化する中国市場の徹底分析』	¥300,000 (PDF版)	8/29	—	—			
* 2023年版[インクジェット印刷マーケット総覧] 『ものづくりのスマート化を切り拓く インクジェット業界の最新市場動向』 (389頁)	¥500,000 (PDF版)	10/27	\$5,000 (PDF版)	12/8	¥700,000	日 英	
* 2023年版[MFPマーケット総覧] 『変革期を迎えたプリンティング業界の将来性分析』 <標準版(メーカー別総合分析版)> (674頁) <標準版>+<長期予測特別版> (753頁)	¥600,000/ ¥700,000 (PDF版)	標準版： 12/22 長期予測 特別版： 12/26	—	—			
《 その他の刊行物 》							
* 2020年版[MIFマーケット総覧] (501頁) 『オフィス向け電子写真製品の設置台数とトナー量に関する長期予測』	¥400,000	2020年 9/28	\$4,000 (PDF版)	2020年 12/23		日 英	
* 2020年版[緊急レポート (コロナショックと業界大規模再編)] (240頁) 『業界再編とコロナショックに揺れる 事務機業界の地域別メーカー別分析』	¥300,000	2020年 4/24	\$3,000 (PDF版)	2020年 6/19		日 英	
* 2014年版[企業便覧シリーズ] (128頁) 『中国の機能性部品ローカル企業100社便覧』	¥150,000	2014年 9/29	\$1,500 (PDF版)	2014年 10/31		日 英	